

**武蔵野市下水道総合計画（2023）（案）及び武蔵野市下水道事業経営戦略（2023）（案）  
への意見及び市の考え方**

1 募集期間：令和5年2月8日から2月28日まで

2 意見書：2通

3 意見の内容及び市の考え方

	意見の内容	市の考え方
1	（武蔵野市下水道総合計画（2023）（案）） p. 29 1) ①下水道使用料の見通しは「見通し」とあるが未来については書かれていない。	ご意見を踏まえて、修正しました。
2	（武蔵野市下水道総合計画（2023）（案）） p. 29 1) ①下水道使用料の見通し、六長調では2052年まで人口推計を出しているとおよそ現在より8%増となる見込みである。水道使用量は人口に比例しそうな気がするため将来的には増えるのではないか。	有収水量の推計については、下水道事業経営戦略(2023)（案）で行っており、近年、本市の人口は増加傾向にあるものの、1人当たりの有収水量が減少傾向にあることなどから、将来的にも全体の有収水量についてはほぼ横ばいで推移すると予測しています。
3	（武蔵野市下水道総合計画（2023）（案）） p. 29 1) ①下水道使用料の見通し、大口利用者による有収水量が減少しているとあるが、経済が動き出せば戻るのではないか。	有収水量の推計については、下水道事業経営戦略(2023)（案）で行っており、新型コロナウイルス感染症拡大による有収水量への影響については、令和7（2025）年度までに元のトレンドに回帰することを想定しています。
4	（武蔵野市下水道総合計画（2023）（案）） p. 55 3) 新たな社会ニーズへの対応 （ニュースでは知っていたが）初めて国交省資料の「紙オムツの処理方式」図を見たが、国がこんな荒唐無稽な処理方法を考えていたとは呆れた。特にCタイプは、どんなに粉砕したとしても紙オムツに使用されている素材を下水に流すのは、マイクロプラスチックのように水環境に悪影響を与えてしまうのではないかと不安しかない。武蔵野市として水質や水環境の悪化の可能性のある下水道への紙オムツの受け入れに加担してはいけないと思う。「導入の可能性について検討」ではなく、都や国に反対の意見を申し入れてほしい。	本市の9割の地域は合流式下水道を採用しているため、河川等の水質悪化等の影響については十分に理解しています。新たな社会ニーズ等への対応に向けて、下水道の可能性や新技術について研究していくという趣旨で記載しています。

	意見の内容	市の考え方
5	<p>(武蔵野市下水道総合計画 (2023) (案))</p> <p>p. 57 1) 様々な媒体の活用による情報発信</p> <p>武蔵野市在住の漫画家や市内で事業を行うアニメ制作会社に依頼して、武蔵野市ならではのデザインマンホールやマンホールカードを作成してほしい。吉祥寺・三鷹・武蔵境でモチーフの漫画・アニメ作品が変わっても面白いと思う。</p>	<p>ご意見を承りました。</p>
6	<p>(武蔵野市下水道総合計画 (2023) (案))</p> <p>p. 59-68 用語説明</p> <p>その用語が使用されているページを逆引きできないのは不便ではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえて、修正しました。</p>